

TAKIZUMI

LEDシーリングライト 取扱説明書

GYL8R0080101

保証書添付

保管用

お客様へ

工事店様へ

この度は、タキズミ照明器具をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
「取扱説明書」をよくご覧のうえ、正しく安全にご使用ください。
ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
保証書はお買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

この説明書は工事終了後、この器具をご使用になるお客様にお渡しください。

品番 GSX80095

【安全上のご注意】必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

◆誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

◆お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。



「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



してはいけない内容です。



「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。



実行しなければならない内容です。



警告

■取付面

●次のような場所には取り付けないでください。

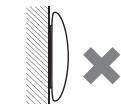
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。



不安定な場所



傾斜した場所



壁面

補強のない場所
(ベニヤ板や石こう)
(ボードなど)



格子天井



サオブチ天井



凹凸のある場所
変形天井

◎この器具は水平天井専用です。

■配線器具

●次のような配線器具（ローゼット・引掛シーリング）には取り付けないでください。

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

ガタつきがあるもの
破損しているもの



電源端子
露出しているもの



斜めに
取り付けられたもの



シーリングハンガー
取り付けられたもの



ケースウェイ
取り付けられたもの



10mm
未満
ローゼット
内装材の重ね貼りなどにより
出しろが小さくなったもの



◎販売店、工事店に交換を依頼してください。
(工事には資格が必要です。)

■壁スイッチ

●調光機能が付いた壁スイッチの場合は、一般の入切用スイッチに交換してください。

火災のおそれがあります。



必ず守る



◎販売店、工事店に交換を依頼してください。
(工事には資格が必要です。)

■その他

●交流100ボルトで使用してください。

過電圧を加えると過熱し、火災・感電のおそれがあります。

●異常を感じた場合、速やかに電源を切ってください。

異常状態が収まつたことを確認し、お客様相談室にご相談ください。



必ず守る

●アダプタは確実に取り付けてください。

落下してけがのおそれがあります。

●本体は確実に取り付けてください。

破損して感電のおそれがあります。

●本体が簡単に回転しないことを確認してからカバーを取り付けてください。

破損して感電のおそれがあります。



分解禁止

●器具を改造したり、部品交換をしないでください。

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

注意

●照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくとも内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。

点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。

◎1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。
(弊社ホームページより書式をダウンロードしてご使用ください。
http://www.takizumi-denki.com/safety/anzen_check_seat_jyuutaku.pdf



●付属の梱包材は取り除いて使用してください。

そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。

●この製品は5°C~35°Cの範囲内で使用してください。
火災、感電の原因となることがあります。

●取付け・取りはずし時などは足場を確保し、安全に作業でできるよう注意してください。

転倒・落下してケガをするおそれがあります。



●カバーなどが破損した場合、けがの原因になることがありますので、破損部分に直接手や肌などを触れないでください。

◎破損した状態のまま使用すると感電、けがの原因になります。
販売店に点検、部品の交換、修理を依頼してください。



●点灯中や消灯直後は本体やその周辺にさわらないでください。

やけどの原因となることがあります。

◎お手入れは電源を切り、本体やその周辺が冷めてから行ってください。



●浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しないでください。

火災、感電の原因となることがあります。

◎この器具は防湿、防雨型ではありません。



●温度の高くなるものを器具の真下に置かないでください。

火災の原因となることがあります。

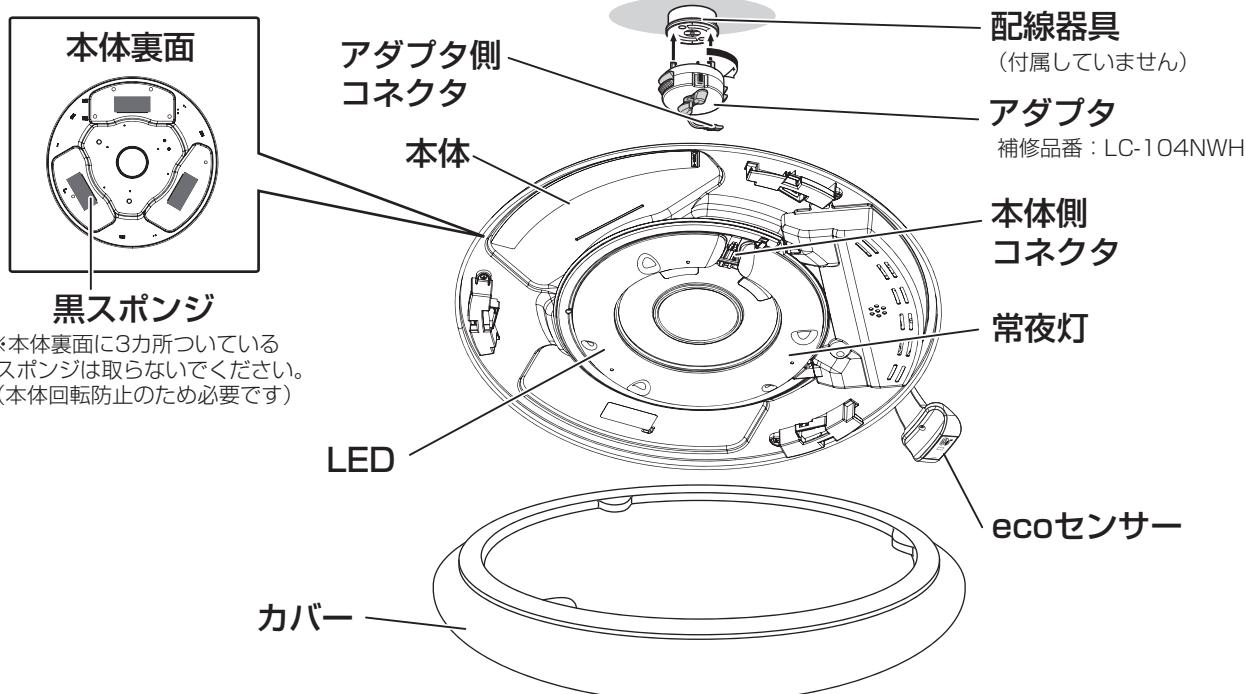
◎器具の真下にストーブなどを置かないでください。

●LEDを直視しないでください。

目の痛みの原因となることがあります。

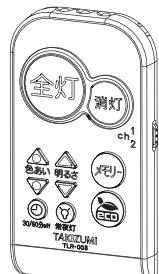
各部のなまえと付属部品

取付ける前にまず付属部品をご確認ください



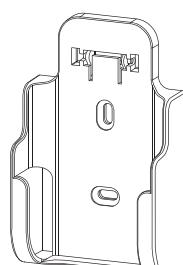
リモコン付属部品

リモコン
補修品番：TLR-008



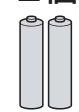
※リモコン前面の保護シートは取りはずしてからご使用ください。

リモコン
ケース



木ネジ
2個

単4形
乾電池
2個

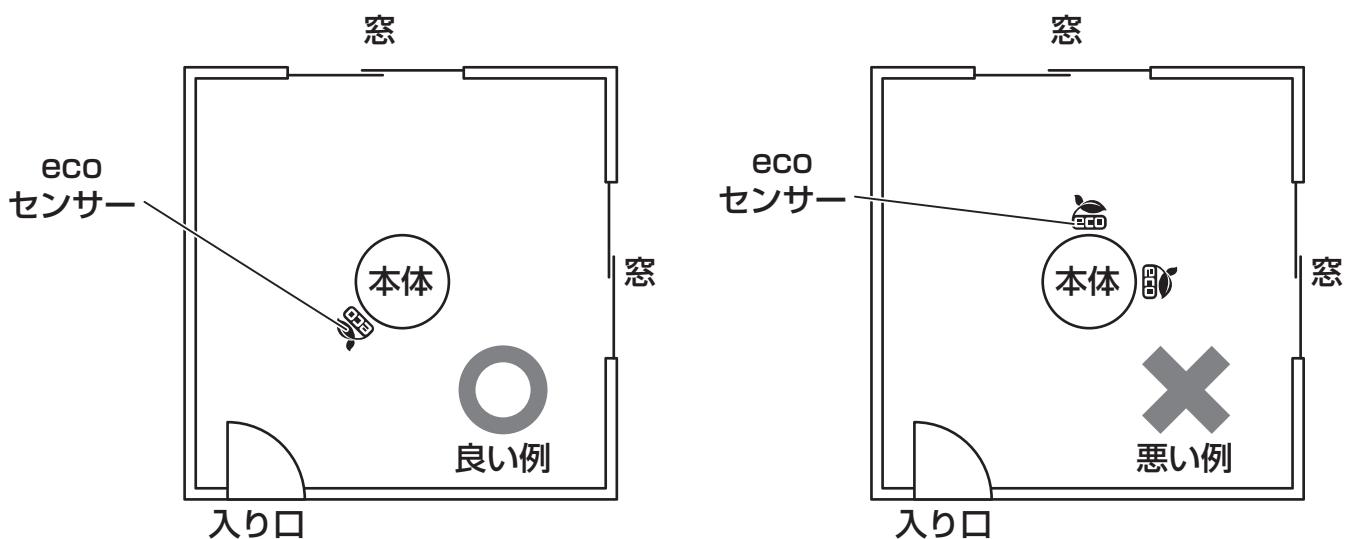
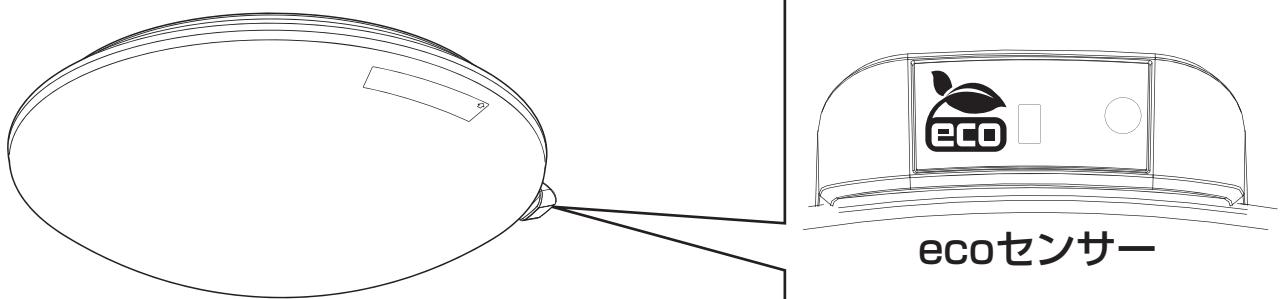


●リモコンに付属の電池は動作確認用ですので、電池寿命が短い場合があります。

取り付け前のご確認

ecoセンサーの位置を確認する

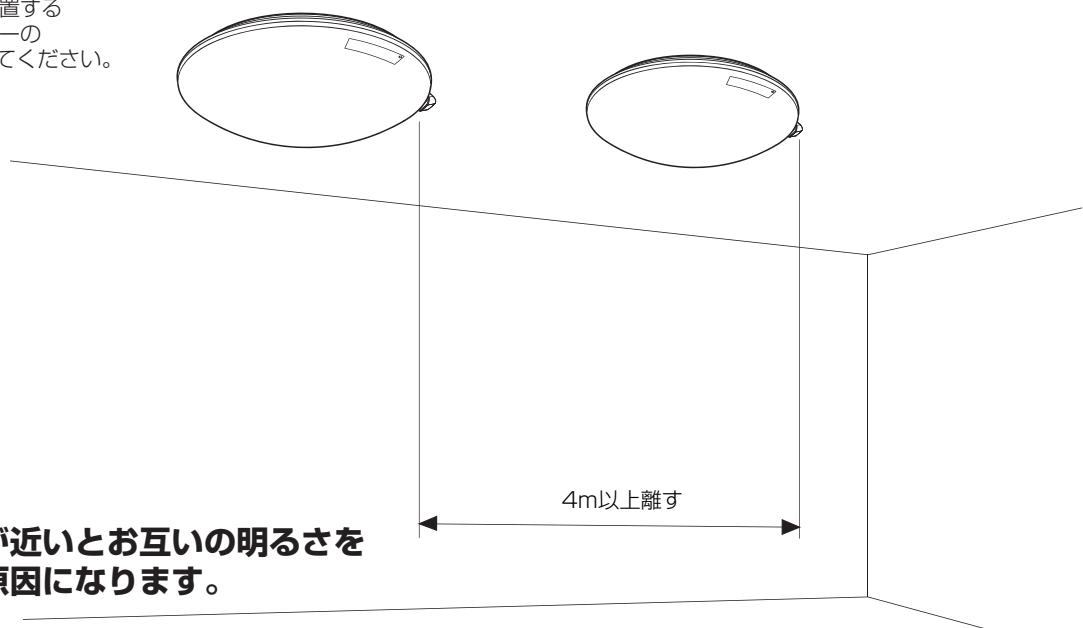
ecoセンサーの位置を窓からなるべく離れた位置になるように取付けてください。



※窓の外の光を直接検知すると、設定よりも暗くなる場合があります。

ecoセンサー付き器具を複数設置する場合の注意点

ecoセンサー付き器具を複数設置する場合は、それぞれのecoセンサーの位置間を4m以上離して設置してください。



※設置位置間の距離が近いとお互いの明るさを検知して誤作動の原因になります。

照明器具を取り付ける

安全のため、必ず電源を切ってから行ってください。

1 天井についている配線器具を確認する。

※壁スイッチと併用をおすすめします。

天井に右図のような配線器具が付いている場合、取り付けできます。

!
右記以外の配線器具の場合、配線器具が設置されていない場合、取り付けできません。

◎販売店、工事店に交換を依頼してください。
(工事には資格が必要です。)

天井からの出しろが22mmの配線器具



角型引掛シーリング



丸型引掛けシーリング



丸型フル
引掛けシーリング



フル引掛けシーリング



引掛け埋込一口ゼット(ハンガー付)



引掛け埋込一口ゼット(ハンガーレス)

2 天井の配線器具にアダプタを取り付ける。

① 位置を合わせる。

アダプタのツメ(2カ所)を配線器具のスライド穴に入れる。

② カチッと音がするまでアダプタを右に回して取り付ける。

確認 ボタンを押さずに左に回して外れないことを確認する。

警告

アダプタは必ず付属のアダプタを使用してください。
付属のアダプタ以外を使用した場合、本体が外れなくなる場合があります。

警告

アダプタ、本体は確実に取り付ける。
落下しきがのおそれがあります。

3 本体を取り付ける。

① 本体の穴にアダプタ側コネクタを通す。

② アダプタに本体の穴を合わせて穴のまわりを押し上げる。

③ アダプタのツメ(白)が見えることを確認する。

④ アダプタのハンドルをロックする。

スライド穴(2カ所)

ツメ(2カ所)

アダプタ

ボタン

スライド穴(2カ所)

ツメ(2カ所)

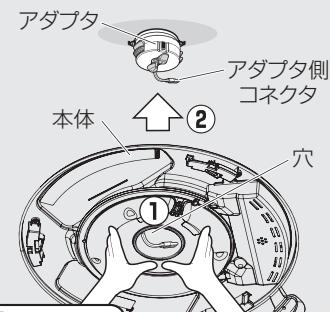
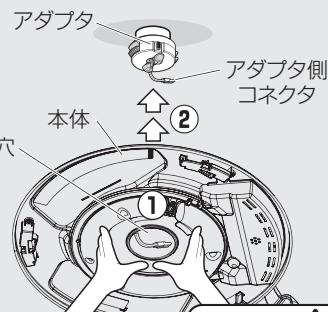
ボタン

アダプタ

ボタン

※配線器具により本体の取付位置が異なります。

下記を参考に押し上げてください。



注意

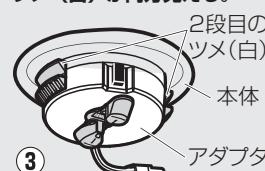
! 本体の穴のまわりを押しあげる。

カチッ カチッと2度、音がするまで押し上げる。

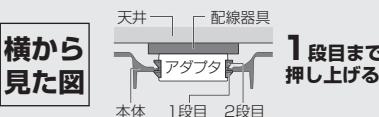


アダプタの本体取付位置

アダプタ2段目のツメ(白)が両方見える。



カチッと1度、音がするまで押し上げる。



アダプタの本体取付位置

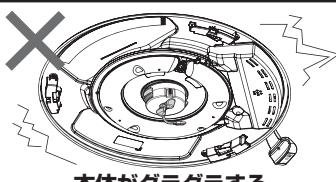
アダプタ1段目のツメ(白)が両方見える。



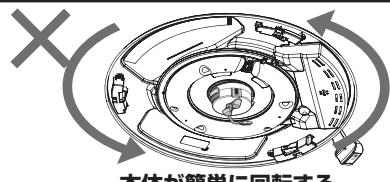
4 本体が正しく取付けられているか確認する。

確認

右の図の場合、正しく取付けされていないので手順③を再度行ってください。



本体がグラグラする

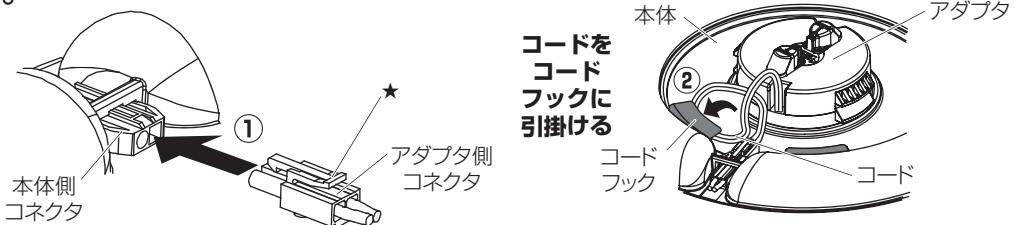


本体が簡単に回転する

(次ページにつづく)

5 コネクタを接続する。

- ① アダプタ側コネクタを本体側コネクタに確実に差し込む。
- ② アダプタのコードを本体のコードフックに引掛ける。



確認

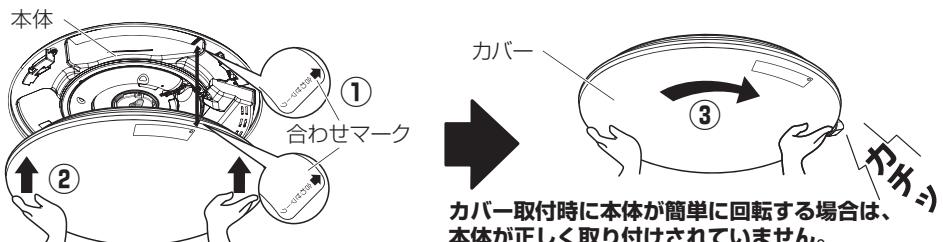
★の部分を押さえずに引っ張って、アダプタ側のコネクタが抜けないことを確認してください。

警告

コネクタ接続後は、本体を無理に回転させないでください。器具や配線器具の落下、破損の原因になります。

6 カバーを取付ける。

- ① 本体とカバーの合わせマークを合わせる。
- ② カバーを持ち上げる。
- ③ カチッと音がするまでカバーを右に回す。

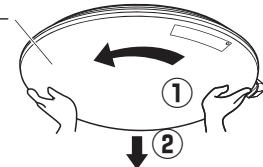


確認

カバーが確実に取付けされていることを確認してください。

取り外しかた

- ① カバーを左に回す。
- ② カバーを外す。

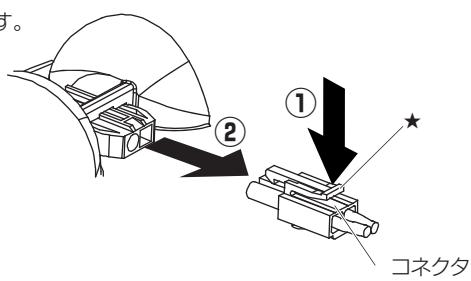


照明器具を取り外す

安全のため、必ず電源を切ってから行ってください。

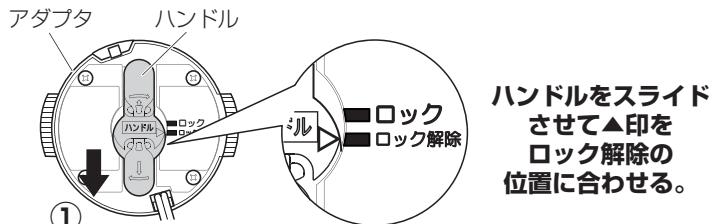
1 コネクタを外す。

- ① コネクタの★の部分を押さえながら
- ② 取り外す。



2 本体を取り外す。

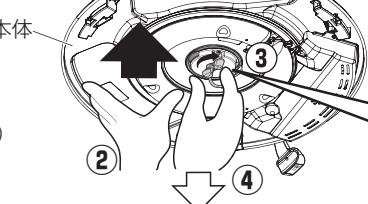
- ① アダプタのロックを解除する。
- ② 本体が落ちないようにしっかりと支えながら
- ③ ハンドルを右に回す。
- ④ 本体をゆっくりと下げて取り外す。



ハンドルをスライドさせて▲印をロック解除の位置に合わせる。

3 アダプタを外す。

- ① ボタン（黒）を押しながら
- ② 左に回して外す。



右に回す

警告
本体が落ちないようにしっかりと支える。
落下してけがのおそれがあります。

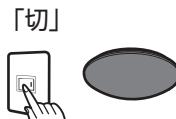
あかりをつける・消す

壁スイッチで照明器具を操作する

点灯・消灯する



記憶している前回の状態で点灯します。
(初期設定：消灯)

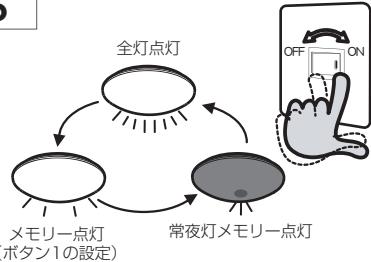


現在の状態を記憶して消灯します。

- ただし、リモコンで「明るさと色あい」を調節した状態で消灯した場合、現在の状態は記憶しません。そのため、次にONしたときは、最後にメモリーボタンに記憶した「明るさと色あい」で点灯します。
- 消灯状態で「切」にすると次に「入」にしたときも消灯状態になります。

点灯状態を切り替える

壁スイッチを素早く(約3秒以内に)
OFF⇒ONと切り替えると次の順に点灯状態が切替ります。



- 初期設定はメモリーボタン(明るさ：100% 色あい：昼白色5000K)の状態で記憶されています。

- 壁スイッチ1個で2台以上の照明器具を使用しないでください。点灯状態が、同時に切り替わらない場合があります。

リモコンについて

リモコンで照明器具を操作する 壁スイッチは「入」の状態にしてください。

乾電池の入れかた

- ①裏側のカバーをはずす。 ②電池の \oplus -を正しく入れる。



- ③カバーを取り付ける。



電池は \ominus 側接点をリモコンのバネに正しく押し当てながら装填してください。

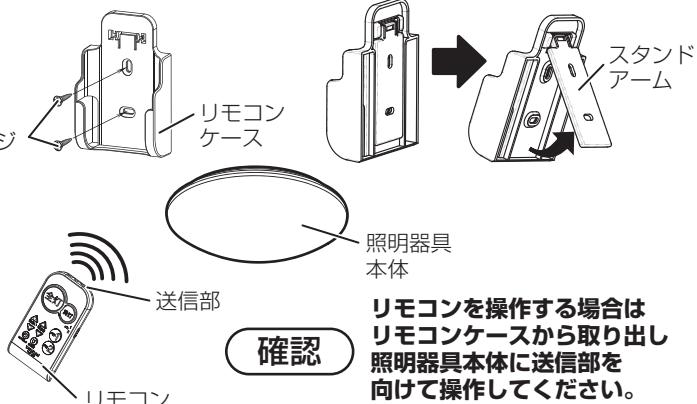
- 使用的電池や条件により半年未満で消耗することがあります。
- リモコンに付属の電池は動作確認用ですので、電池寿命が短くなる場合があります。
- 電池を入れると、電池に傷をつけたり、カバーを破らないようにしてください。発熱、破裂、発煙、発火の恐れがあります。
- 交換時は、2本とも新しい同じ種類のものを使用してください。
- 長期間使わないときは、電池を取り出してください。(液漏れによる故障防止)

リモコンケースの使いかた

壁などに取付ける場合



テープルなどに置いて使用する場合



リモコンを操作する場合は
リモコンケースから取り出し
照明器具本体に送信部を
向けて操作してください。

点灯状態を調節し記憶させる

LED点灯中に調光・調色操作を行ない、メモリーポンボタンを長押しすることにより、その明るさ、色あいを記憶することができます。

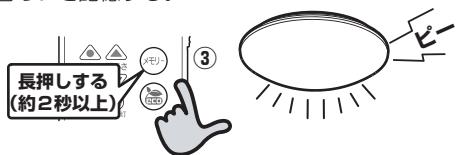
- ①リモコンの「全灯ボタン」を押してLEDを点灯させる。



- ②リモコンの「調光ボタン」「調色ボタン」を押しておこのみのLEDの明るさと色あいに調節する。



- ③リモコンの「メモリーボタン」を長押しして明るさと色あいを記憶する。



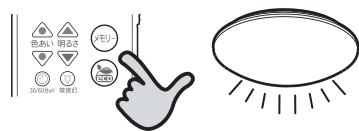
「ピー」とブザーが鳴り明るさと色あいを記憶

- 再び左記の操作を行うまでは、記憶した明るさと色あいを保持します。

記憶した明るさ、色あいをワンタッチで点灯させる

記憶した明るさ、色あいをワンタッチで点灯することができ、「お気に入りの点灯状態」としてご利用できます。

- リモコンの「メモリーボタン」を押してLEDを点灯させる。



記憶した明るさと色あいで点灯

- 初期設定は(明るさ：100% 色あい：昼白色5000K)の状態で記憶されています。

リモコンの便利な使いかた

2台までのリモコン照明器具を操作する 照明器具のチャンネルを変更できます

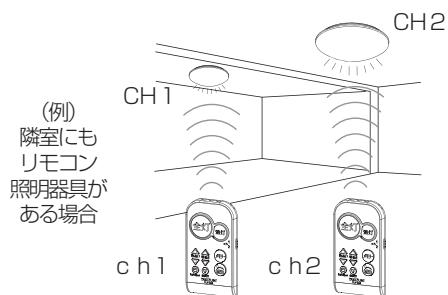
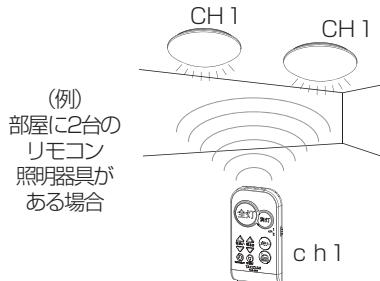
チャンネル設定でできること

●複数の器具を同時に点灯できます。

●近くの器具を別々に点灯できます。

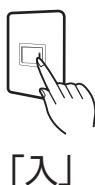
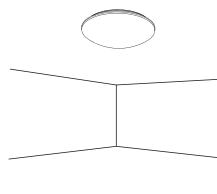
リモコンのチャンネルを切り替えると、1台のリモコンで複数の本体が操作できます。

また、リモコンで操作できない時は、チャンネル設定が合っていない場合があります。



チャンネルの設定方法

●チャンネルの初期設定は照明器具本体、リモコン共にch1に設定されています。



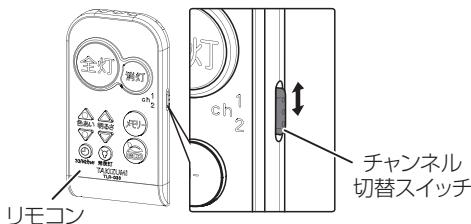
照明器具本体をch2に設定する場合

- ① チャンネル設定 **ch2** に設定したい器具（1台）のみを壁スイッチONにする。

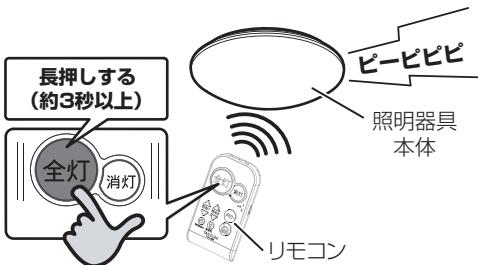
照明器具本体をch1に設定する場合

- ① チャンネル設定 **ch1** に設定したい器具（1台）のみを壁スイッチONにする。

チャンネル設定を切り替えたい照明器具本体以外も反応して、同時に設定されてしまう場合は壁スイッチOFFにしてから対象器具以外のコネクタを取り外してからチャンネル設定をしてください。



- ② リモコンのチャンネル切替
スイッチを **ch1** の位置にする。



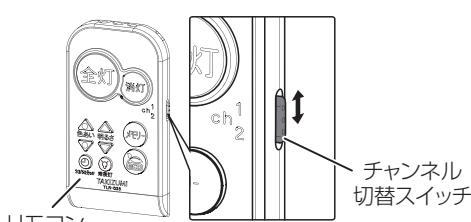
- ③ 照明器具本体にリモコンを向けながら「全灯ボタン」を約3秒以上、長押しする。
(このときの点灯状態は、全灯点灯となります)

「ピーピピピ」とブザーが鳴り
照明器具本体のチャンネルが**ch1→ch2**へ切り替わります。

- ② リモコンのチャンネル切替
スイッチを **ch2** の位置にする。

- ③ 照明器具本体にリモコンを向けながら「全灯ボタン」を約3秒以上、長押しする。
(このときの点灯状態は、全灯点灯となります)

「ピーピピピ」とブザーが鳴り
照明器具本体のチャンネルが**ch2→ch1**へ切り替わります。



- ④ リモコンのチャンネル切替
スイッチを **ch2** の位置に切り替えて使用してください。

照明器具本体のチャンネル設定が**ch2**に切り替わっているため
リモコンのチャンネルを合わせないと操作することができません。

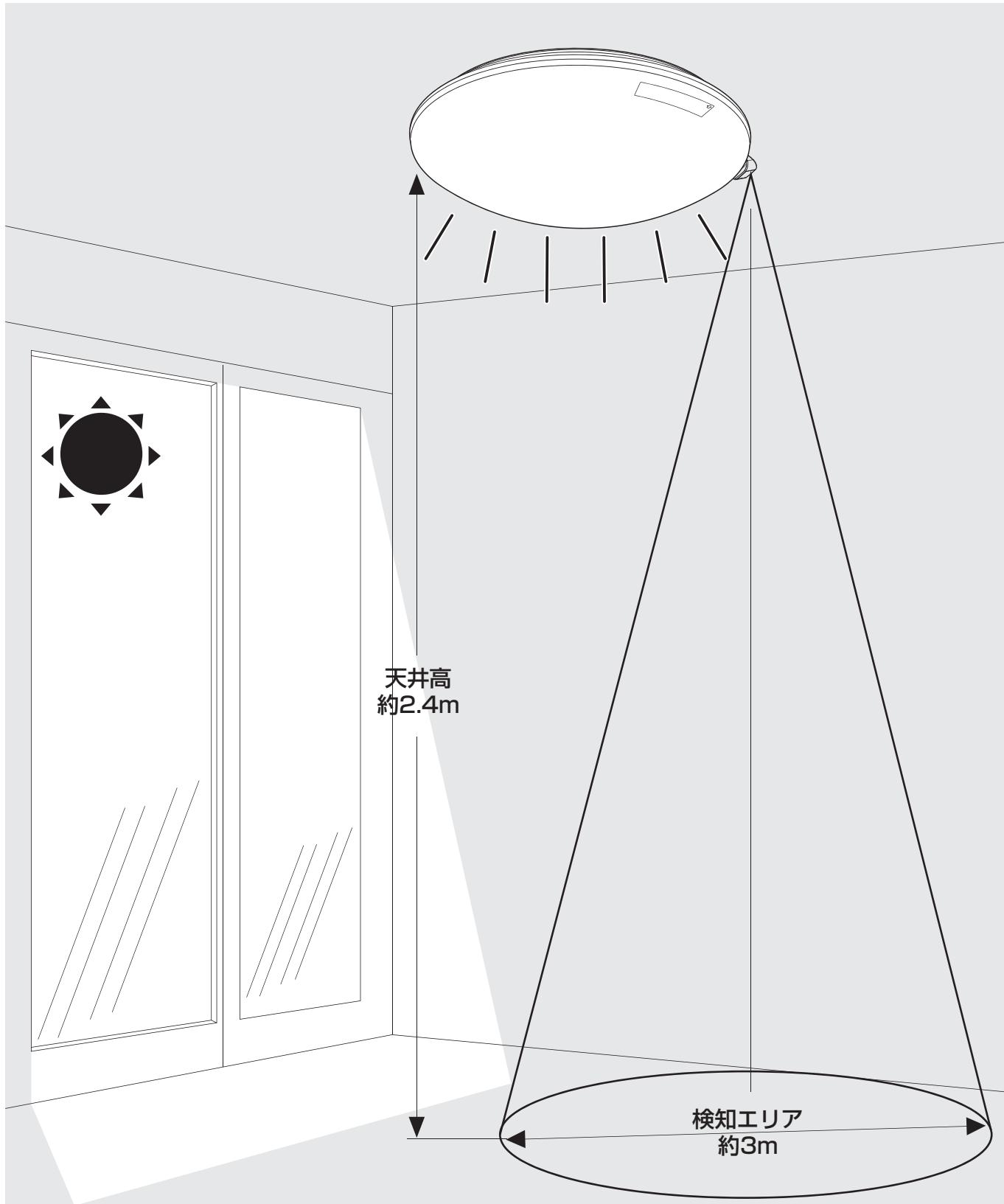
- ④ リモコンのチャンネル切替
スイッチを **ch1** の位置に切り替えて使用してください。

照明器具本体のチャンネル設定が**ch1**に切り替わっているため
リモコンのチャンネルを合わせないと操作することができません。

リモコンは、他のタキズミ製リモコン付照明器具に対しても操作できますが、チャンネルの設定の方法はその商品の取扱説明書をご参照ください。また、機種によってはリモコンで操作できる機能が制限される場合があります。

ecoセンサーとは

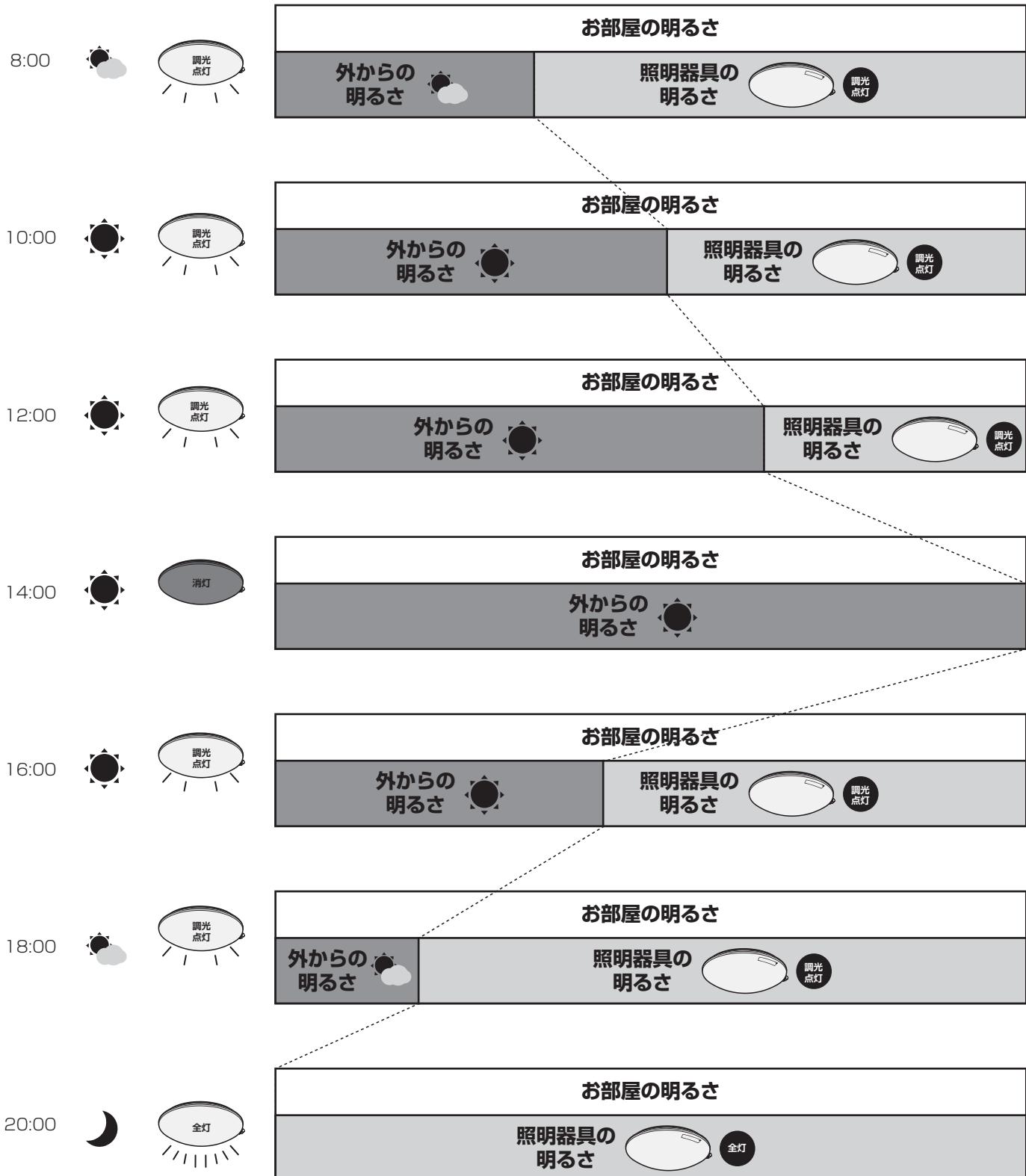
ecoセンサーが検知エリアの明るさを検知し、外光の明るさに応じて照明器具が自動で必要な明るさに調節する機能です。



検知エリアに外光が入ると自動で余分な明るさ分を減光・消灯します。

ecoセンサーの動作イメージ

環境設定したお部屋の明るさを基準として外からの明るさに対して照明器具の明るさを調節します。
お部屋の明るさの基準の設定例として外からの明るさが暗いときに全灯の状態で環境設定した場合で説明しております。
(下の図で20:00のような状態のときに設定をした場合の例です。)



※上記の図はecoセンサーについてご理解いただくためのイメージ図です。
使用状況などの環境によりイメージ図通りに動作しない場合があります。

1 設定条件を確認する。

設定は必ず夜間に行う。

昼間に環境設定を行うと正常に設定できません。

照明器具から約2m離れて設定する。

照明器具の近くに人がいると環境設定を正常に設定できません。

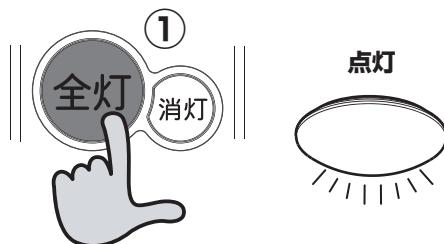
近くにあるほかの照明器具は、常時点灯させている場合を除き消灯する。

他の照明器具の光に反応して、正常な設定ができない場合があります。

2 点灯状態を調節する。

LED点灯中に調光・調色操作を行ない、お部屋の明るさの基準として設定したい点灯状態に設定します。

- ① リモコンの「全灯ボタン」を押してLEDを点灯させる。



- ② リモコンの「調光ボタン」「調色ボタン」を押しておこのみのLEDの明るさと色あいに調節する。



● 照明器具を1~2時間点灯させてから、器具の明るさが安定した状態で環境設定を行うようにしてください。

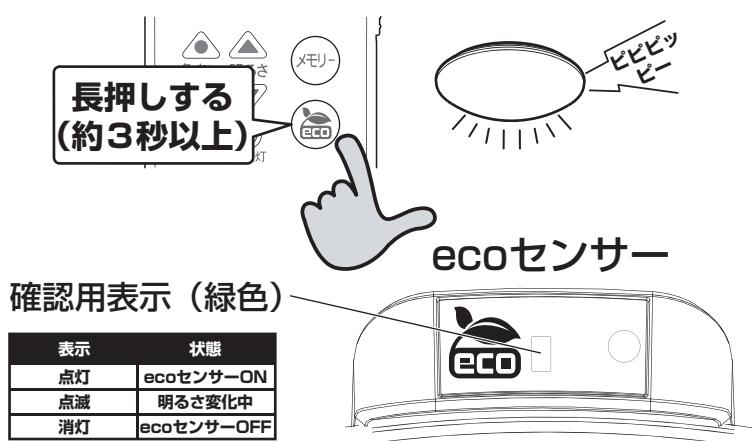
確認

常夜灯以外の点灯状態で設定してください。常夜灯ではお部屋の明るさの基準として環境設定できません。

3 センサー入/切ボタンを長押しする。（約3秒以上）

照明器具本体にリモコンを向けて「センサー入/切ボタン」を長押しして環境設定を行います。

「ピピピッ ピー」と音が鳴り明るさと色あいを記憶して環境設定を開始します。



● 環境設定完了後は、センサーONの状態となります。

確認

再び上記の操作を行うまでは、記憶した明るさと色あい及び環境設定を保持します。

下記の場合には再度、環境設定を行ってください。

- ・テーブルやソファなどの家具の配置を変えたとき
- ・壁紙やラグやカーテンなどの部屋の模様替えを行ったとき

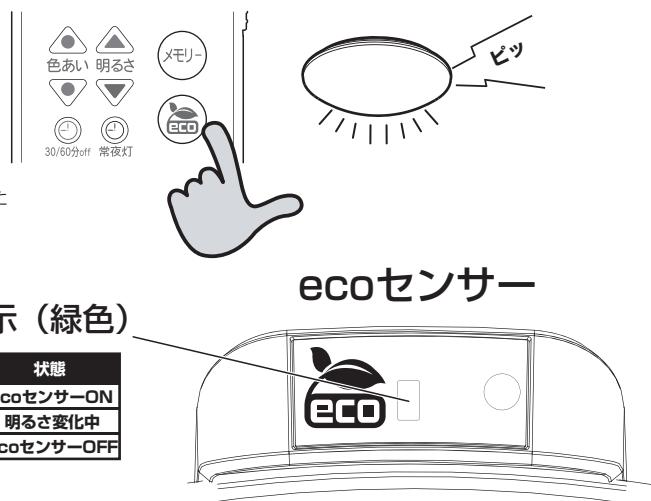
ecoセンサーの使い方

ecoセンサーをONにする

リモコンのセンサー入/切ボタンを押す。

「ピッ」と音が鳴り、ecoセンサーの確認用表示（緑）が点灯し ecoセンサーがONになります。

この場合、環境設定時にセンサー入/切ボタンで記憶した「明るさと色あい」で点灯します。



確認用表示（緑色）

ecoセンサーの確認用表示（緑）が点灯します。

表示	状態
点灯	ecoセンサーON
点滅	明るさ変化中
消灯	ecoセンサーOFF



確認

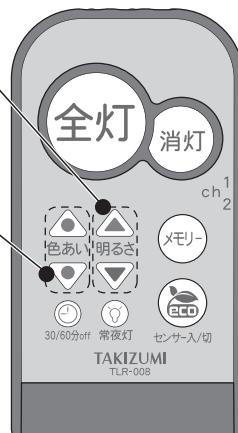
ecoセンサーがONの場合、下記のボタンは無効になります。

調光ボタン

明るさを調節します。
調光範囲：100%～約10%まで

調色ボタン

色あいを調色します。
調色範囲：昼光色6700K～電球色3000K※まで



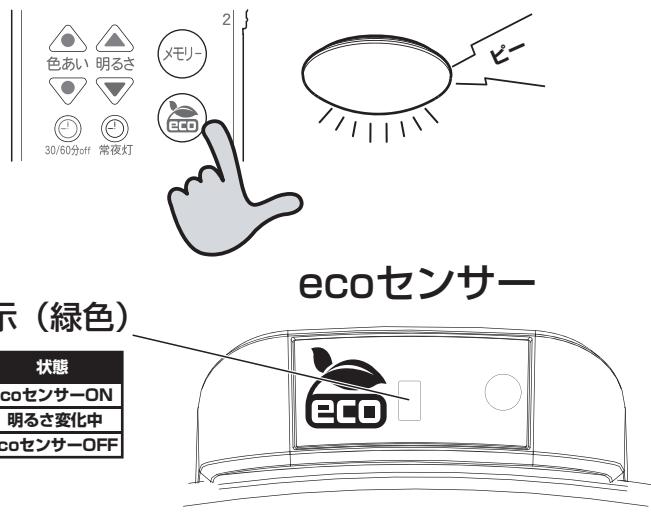
● ecoセンサーがONの場合、全灯/消灯/メモリー/常夜灯を押すとecoセンサーがOFFになります。

● offタイマーボタンはecoセンサー動作のまま30分または60分後に自動消灯を行います

ecoセンサーをOFFにする

リモコンのセンサー入/切ボタンを押す。

「ピー」と音が鳴り、ecoセンサーの確認用表示（緑）が消灯し ecoセンサーがOFFになります。



確認用表示（緑色）

ecoセンサーの確認用表示（緑）が消灯します。

表示	状態
点灯	ecoセンサーON
点滅	明るさ変化中
消灯	ecoセンサーOFF



確認

壁スイッチを素早く（約3秒以内に）OFF⇒ONと切り替えた場合でも、ecoセンサーをOFFにできます。

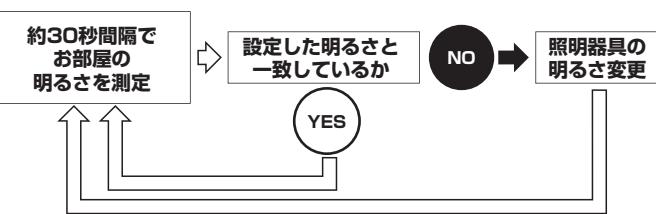
こんな場合にはどうするの？

Q1.

ecoセンサーはどんな動作をするの？

A.

約30秒間隔でお部屋の明るさを測定し、明るさを変更するか、明るさを維持するか判断します。



Q2.

検知エリア内でテレビをつけるとどうなるの？

A.

ほとんど影響はありませんが、気になる場合はecoセンサーをOFFにしてご使用ください。

Q3.

ecoセンサーが汚れたらどうなるの？

A.

ecoセンサーが検知しにくくなるため、省エネ効果が得られにくくなります。
汚れがひどい場合は石けん水に浸した布をよく絞って拭き取り、洗剤が残らないようによく拭き取ったあとに柔らかい布で仕上げてください。

Q4.

センサーにカメラのフラッシュが入ったらどうなるの？

A.

瞬間的な明るさ変化のためecoセンサーには影響しません。

Q5.

取付ける天井高に制限はないの？

A.

標準天井高2.4m～3mまでを目安にご使用ください。
天井が低いと検知エリアが狭くなり、天井が高いと検知エリアは広くなります。
検知エリアが広いと周囲の明るさの影響を受けやすくなります。

Q6.

なぜ環境設定を行う必要があるの？

A.

お部屋の明るさは家具や壁紙やラグなどの色や配置でも変化します。
インテリアの色調が白い部屋とインテリアの色調が黒い部屋では、ecoセンサーが検出する明るさに差が出ます。
環境設定はそのお部屋の基本となる明るさを測定し、適切な明るさで点灯するために必要な設定です。

Q7.

外光がある状態で環境設定するとどうなるの？

A.

外からの光が入った状態で環境設定を行うと、お部屋の環境が明るいと誤測定してしまいます。
誤った明るい状態が基準になり、それ以上の明るい光が入らないと減光動作を行わず省エネ効果が得られなくなります。

Q8.

環境設定しないで使うとどうなるの？

A.

必ず環境設定を行ってからご使用ください。
工場出荷時の環境設定は設定条件の中で最も明るい状態の設定になっております。
そのため、誤った明るい状態が基準になり、それ以上の明るい光が入らないと減光動作を行わず省エネ効果が得られなくなります。

Q9.

なぜ1～2時間点灯させてから環境設定をした方がいいの？

A.

LEDは点灯直後は明るさが安定していません。
1～2時間点灯させることにより、明るさが安定した状態で環境設定を行うことができます。

Q10.

同じ部屋にダウンライトなどの照明があるときはどうやって環境設定するの？

A.

基本的に消灯して環境設定していただく方が省エネ効果が得られます。
ただし、ふだんからダウンライトなどの照明を常時点灯している場合は、点灯した状態で環境設定を行ってください。

故障かな?と思ったら

下表に従って点検してください

現象	考えられる原因	参照ページ
点灯しない。	壁スイッチがOFFになっている。 器具のコネクタが確実に差し込まれていない。	壁スイッチをONにしてください。 ⇒7ページ 器具のコネクタを確実に接続してください。 ⇒5ページ
	消灯ボタンを2回続けて押して操作している。	リモコンの消灯ボタンを2回続けて押すと一瞬暗くなった後、約30秒後に消灯します。 ⇒6ページ
環境設定がない。	壁スイッチがOFFになっている。 消灯になっている。	壁スイッチをONにしてください。 ⇒7ページ 常夜灯以外の点灯状態にしてから環境設定を行ってください。 ⇒11ページ
リモコンで操作できない。	点灯状態が常夜灯になっている。	常夜灯以外の点灯状態にしてから環境設定を行ってください。 ⇒11ページ
	ecoセンサーがONになっている。	ecoセンサーをOFFにしてから操作してください。 ⇒12ページ
	電池が正しく入っていない。 電池が消耗している。	電池を正しく入れてください。 ⇒7ページ 電池を交換してください。 ⇒7ページ
勝手に点灯、消灯する。	リモコンと器具のチャンネルが合っていない。	リモコンと器具のチャンネルを合わせてください。 ⇒8ページ
	offタイマー30分／60分がセットされている。	offタイマー30分／60分を解除してください。 ⇒6ページ
	ecoセンサーがONになっている。（自動消灯） 非常に短い停電などにより壁スイッチ機能がはたらき点灯状態が切り替わった可能性がある。	ecoセンサーをOFFにしてください。 ⇒12ページ リモコンまたは壁スイッチ操作してください。 ⇒6、7ページ 壁スイッチをOFFにしてください。 ⇒7ページ リモコンまたは壁スイッチ操作してください。 ⇒6、7ページ

上記の点検でなお異常のある場合には、ただちに電源を切り、ご購入店、弊社お客様相談室にご相談ください。

【ご使用上の注意点】

- 点灯中や消灯後、プラスチックの伸縮によるきしみ音が照明器具から発生することがあります。
- 天井の材質や構造によっては、器具取付天井面が変色する場合があります。
- 停電時、停電復帰時などで予期せぬ非常に短時間の停電が発生した場合、点灯状態が変わることがあります。
- 長時間使わないときは、壁スイッチをOFFしてください。
- 壁スイッチがないとリモコンの電池が消耗した場合やリモコンを紛失した場合に点灯消灯ができません。
- 壁スイッチがONの場合、消灯時も待機時消費電力を消費しています。
- LED、常夜灯にはバラツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- 3Dテレビ用などの特殊なメガネをかけて点灯している照明器具を見た場合、縞模様やちらつきが見える場合があります。
- 3Dテレビ視聴時、リモコンが反応しにくい場合があります。
- 点灯中にビデオカメラを使用すると、ビデオカメラのモニターや録画画像に縞模様が入る場合があります。
- LED光源は、通常のランプのようにお客様自身での取り替えはできません。
- 照明器具が点灯しない場合は、電源を切り、ご購入店、弊社お客様相談室にご相談ください。

【周囲の影響】

- 器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像通信機器に雑音が入ることがあります。
- 器具のきわめて近くでは、リモコン機器（エアコンなど）のリモコンが動作しにくくなることがあります。

電源を切って、本体やその周辺が冷めてから行ってください

- 明るく安全に使用していただくため、定期的（6ヶ月に1回程度）に下記の手順で清掃してください。

本体：石けん水に浸した布をよく絞って拭き取り、洗剤が残らないようによく拭き取る。
柔らかい布で拭く。ひどい汚れのときは、よく絞った布で何度も拭き、最後に必ず乾拭きをする。（**水洗いはできません。**）

カバー（プラスチックのもの）：石けん水に浸した布をよく絞って拭き取り、洗剤が残らないようによく拭き取る。柔らかい布で拭く。ひどい汚れのときは、よく絞った布で何度も拭き、最後に必ず乾拭きをする。

カバー（木・竹・和紙）：ハタキ・ハケ・柔らかいブラシ等でこまめにホコリを払い落としてください。（**水洗いはできません。**）

- 使用する電池や条件により半年未満で消耗することがあります。
※リモコンに付属の電池は動作確認用ですので、電池寿命が短くなる場合があります。
交換時は、2本とも新しい同じ種類のものを使用してください。
長期間使わないときは、電池を取り出してください。（液漏れによる故障防止）

- リモコンの送信部は定期的に手入れを行ってください。
ほこりなどにより汚れるリモコンが効きにくくなります。



確認

シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。
変色、破損の原因となります。

【ecoセンサーONの状態の時、場合によっては下記の現象が起こることがあります。】

- お部屋の床やテーブルなどの色味が濃い場合に器具の真下で新聞や雑誌などを広げたり白い皿を並べたり、白い衣服で座ったりした場合。
- 近くにあるデスクスタンドや壁面のブレケットライトなどのほかの照明器具を点灯させた場合。
- ecoセンサーの検知エリアに窓からの太陽光が床面、ブラインドなどで反射し入った場合。
- ecoセンサーに鏡の反射光が入った場合。
- 照明器具の真下に長時間立った場合。



照明が暗くなったり、消灯する場合がありますが異常ではありません。
気になる場合は環境設定時の明るさを明るくして設定してください。

仕様

使用電圧	周波数	消費電力	入力電流
AC100V	50/60Hz共用	全灯：35.4W 常夜灯：1.3W 待機時：1W以下	0.36A

- LED照明器具の光源寿命は、40,000時間です。（照明器具の寿命とは異なります。）
光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

タキズミ照明器具保証書

※お客様へ 保証書の記載内容をよくお読みいただき、販売店様発行の領収書と合わせて大切に保管してください。

<保証について>

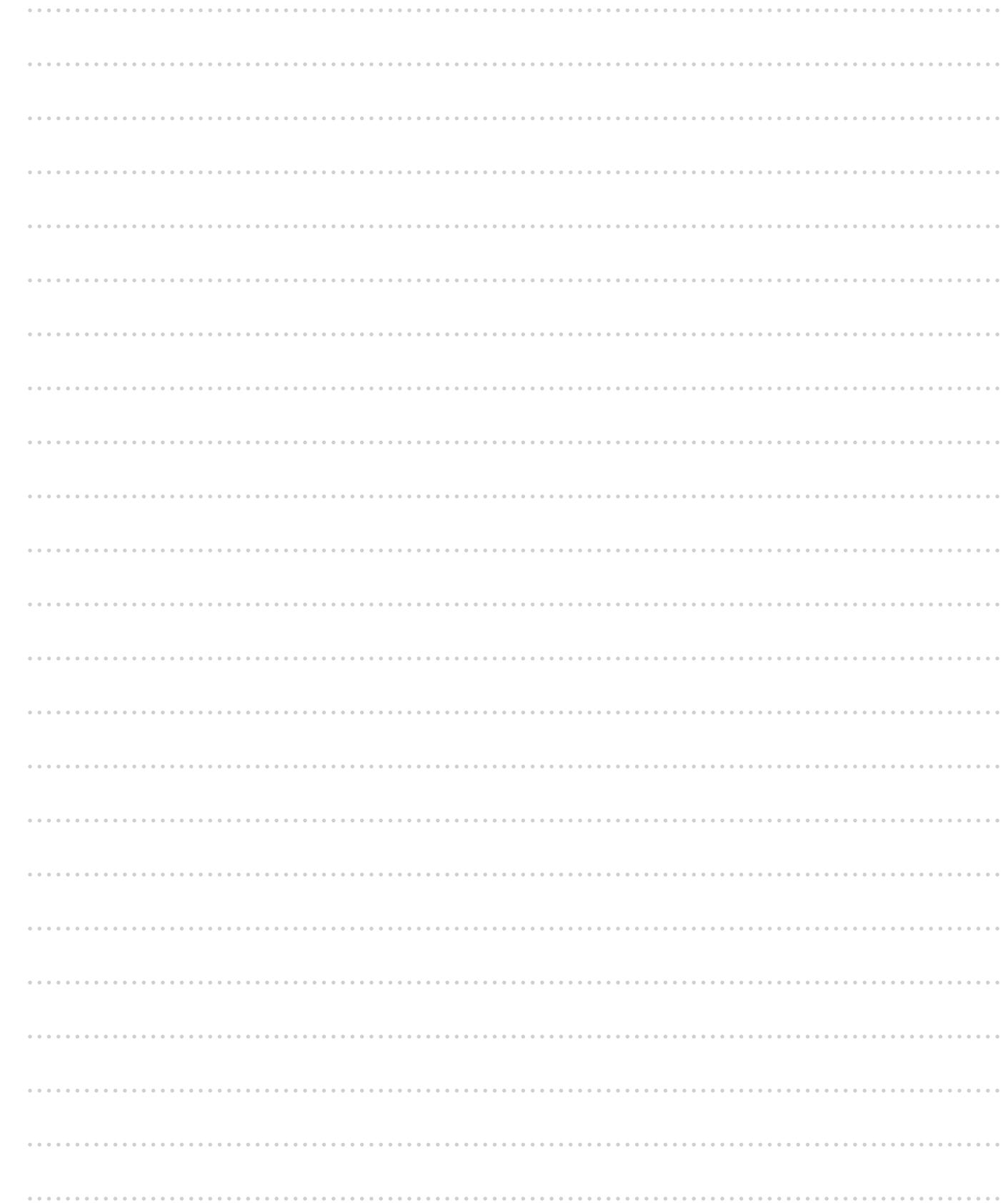
- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
- ご転居の場合の修理ご依頼先は、お買い上げの販売店または、下記「お客様相談室」までご相談ください。
- ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、下記「お客様相談室」までご相談ください。
- 保証期間は製品お買い上げ日から**5年間**です。（本体、LED器具の点灯装置）但し、付属部品は**1年間**です。
- お買上げ日より**5年以内**に故障が発生した場合は、**保証規定の範囲で無料修理させていただきます。**
- ※24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間の使用の場合は、上記の半分の期間とします。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

<アフターサービスについて>

- 保証期間中に万一故障が起きた場合は、保証書を添えて、お買い上げの販売店までお申し出ください。
- 保証期間終了後は、お買い上げの販売店または、下記「お客様相談室」までご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
- アフターサービスについての不明な点や修理に関するご相談は、下記「お客様相談室」までご相談ください。
- 弊社は照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後最低6年間保有しています。
(※セードなどの電気部品以外の部品は含まない)
補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。
※保証書に明示した期間、条件のもとにあいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明な点はお買い上げの販売店または、下記「お客様相談室」までご相談ください。

品番	GSX80095	保証期間 (お買い上げ日から) ※2015年7月1日以降お買い上げの商品が対象になります。	本体・LED器具の点灯装置：5年間	お買い上げ日	年 月 日
			カバー、付属部品など：1年間		
お客様	お名前 ご住所 電話番号 () -	販売店名・住所・電話番号			

●お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及び、その後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。



ご不明な点などは下記までご連絡ください。

瀧住電機工業株式会社

〒546-0035 大阪市東住吉区山坂2-21-16

「お客様相談室」 **0120-226-544**
受付時間/月～金(土、日、祝日、夏季、年末年始休業日を除く) 9:00～17:00
<http://www.takizumi-denki.com/>